

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	11 05 05	中期総合計画主要施策番号	1-03	担当課	部・課	建設部 河川課		
事業名	河川環境事業(公共【河川】)			内線	3439			
				E-mail	kasen@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	・水質の環境基準を超過している諏訪湖において、底泥の浚渫や水質浄化施設の整備等を行い、湖水の水質を改善する。						
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・諏訪湖の水質は、底泥の浚渫等により改善はしているものの、環境基準の達成には至っていない。 ・住民や関係機関から水質改善の要望が強く、さらに、ヒシ除去、流入河川河口部浚渫など、新たな課題への対策も求められている。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・浚渫した底泥などの最終処分地の確保が困難な状況である。 ・諏訪湖浄化に関する、湖周市町や関係機関などと意見交換する場がない。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・地域ニーズを踏まえた水質浄化対策により、第5期諏訪湖水質保全計画で掲げた水質目標の達成を目指す必要がある。 ・地域ニーズを把握し事業に反映するため、市町村と県が連携を図る必要がある。						
		事業内容	汚濁負荷(窒素・リン等の栄養塩類)を多く含む底泥の浚渫工、第5期諏訪湖水質保全計画に位置づけられている調査等 統合河川環境整備(補助率:【国】1/3、【県】2/3)					
		実施期間	S44 ~		根拠法令等	河川法第9条		
	成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価	
水質浄化対策により、第5期諏訪湖水質保全計画で掲げた水質目標の達成を目指し、水質改善を図る。		市町村と県が連携を図り、諏訪湖浄化に関する諏訪湖における新たな水質浄化対策方法に関する検討を開始する。		関係自治体や関係機関で構成する「諏訪湖浄化等推進協議会」を設置し、諏訪湖における課題や地域ニーズが高い植生浄化(ヒシの除去等)の新たな水質改善対策について協議を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)	千円	240,000	136,199	30,000	国庫・県単	公共	
	決 算 額 (B)	千円	370,471	118,580		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	18,524	28,353	2,000	歳出節別内訳等	予算現額(最終予算額+繰越額等) 136,199	
	概 算 人件費	人	0.40	0.40	0.40	(単位: 千円)	1箇所当たり平均工事期間 39年	
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	370,471	118,580	30,000			
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	諏訪湖浄化等推進協議会	回		2				
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・湖周の住民等の生活と密接な関係があるため、諏訪湖浄化に対する住民等からの要望は依然として強い。 ・河川法において、一級河川である諏訪湖の管理は県が行うものとされている。 ・浚渫に代わる水質浄化工法について、引き続き検討、調査を行う必要がある。		
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括	・第5期諏訪湖水質保全計画で掲げた水質目標を達成するため、浚渫に代わる水質浄化工法を検討、調査し、新たな対策を策定する必要がある。						